

## ～ 合成洗剤について ～

- ❗ 合成洗剤は、外部から皮膚を保護している皮脂膜を破壊してしまい、アレルギー、荒れの原因に。
- ❗ 洗濯や食器洗いによって合成洗剤は手から侵入する。
- ❗ 洗濯した衣類からは、合成洗剤や柔軟仕上げ剤が汗などに溶け出し皮膚から侵入する。
- ❗ シャンプーやリンス、はみがき剤のほとんどにも合成洗剤は入っているので、頭皮、毛髪、舌が侵されるとともに体内に入る。
- ❗ 合成洗剤で洗った食器や野菜からも残留したものが口から入る。
- ❗ 口から入り込むより皮膚から入り込むほうがこわい。
- ❗ 皮膚から侵入した場合は、血液によって体内をめぐる細胞を破壊する作用があり、最後にたどり着いた肝臓の細胞が特に悪影響を受ける。
- ❗ 血液中の赤血球を破壊してしまう。
- ❗ 傷口や粘膜からの吸収は普通の皮膚の13倍にもなるといわれている。
- ❗ 発ガンの割合がぐんと上がるという結果も出ている。
- ❗ 合成洗剤は連続して皮膚障害原因のトップになっている。
- ❗ オムツに接している部分がかぶれたり、ただれたりするのは洗濯用合成洗剤、合成の柔軟仕上げ剤が主な原因です。
- ❗ 母体の皮膚や口から入った合成洗剤は催奇性、胎児異常など様々な異常を引き起こす原因に。
- ❗ 河川に流れた合成洗剤は、どんなに薄まっても分解されずバクテリアを殺してしまい、河川の有機物汚染が進む。
- ❗ 合成洗剤はメダカのえらの細胞を破壊してしまう。メダカが絶滅するのは時間の問題です。
- ❗ 下水道を利用している世帯全体で洗濯合成洗剤を石けんに変えたところ、下水処理能力が3倍にアップしたという。
- ❗ 洗濯用洗剤は必要以上にたくさん入れても、洗剤が残りシミになったり、すすぎに時間がかかるだけです。
- ❗ 米のとぎ汁で食器を洗えば、油汚れもスッキリ落ち、手荒れもしないという。
- ❗ ガンコな汚れは、柑橘類の果物の皮に塩をつけてこするだけできれいになるという。
- ❗ グラスや口の細いびんの汚れは、卵のカラを細かくして水と一緒に入れ、振り洗いするだけできれいになるという。

